

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
22121	松山市消防協会補助事業	消防局	地域消防推進課	2
22121	消防団管理事務	消防局	地域消防推進課	3
22121	消防出初式開催事業	消防局	地域消防推進課	4
22121	消防団員被服貸与事務	消防局	地域消防推進課	5
22121	消防ポンプ操法大会開催事業	消防局	地域消防推進課	6
22121	消防団員報酬支給事務	消防局	地域消防推進課	7
22121	消防団施設維持管理事務	消防局	地域消防推進課	8
22121	消防団員等公務災害補償事務	消防局	地域消防推進課	9
22121	消防団員退職報償事務	消防局	地域消防推進課	10
22121	消防団員福祉共済制度補助事業	消防局	地域消防推進課	11
22121	愛媛県消防協会事務	消防局	地域消防推進課	12
22121	消防団車両機械購入事業	消防局	地域消防推進課	13
22121	消防団施設整備・営繕事業	消防局	地域消防推進課	14
21123	消防団ポンプ蔵置所耐震化事業	消防局	地域消防推進課	15
21312	防火防災訓練補償等共済事務	消防局	地域消防推進課	16
21312	防火指導事務	消防局	地域消防推進課	17
21312	みんなの消防フェスタ開催事業	消防局	地域消防推進課	18
21312	幼年少年消防クラブ育成事務	消防局	地域消防推進課	19
22122	松山市女性防火クラブ連合会補助事業	消防局	地域消防推進課	20

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	織田 史則

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市消防協会補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備		根拠法令					
主な取組	地域消防力の強化							
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	松山市消防協会は、消防団員の品位を向上し、融和親睦を保ち、消防署施設の改善並びに消防活動の連絡強化を進め、消防事業の進歩発展に寄与することを目的に設置しており、本事業は、松山市消防協会規約(昭和30年)に定められた協会事務を適正に執行するために開始した。							
対象・内容	松山市消防協会に補助金を交付し、消防に関する研究調査や機器改良、教育訓練等への支援を行うとともに、防火思想の普及啓発を図る。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	松山市消防協会への補助金		1,200
予算(千円)	事業費計	1,200	1,200	1,200					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,200	1,200	1,200					
決算(千円)	事業費計	1,200	1,200			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,200	1,200						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2					
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	消防団支援事業		目標	20	20	20	20	消防団活動が活発に行われたため。	
			実績	25	26				
	現状維持	回	達成率	125.0%	120.0%				
成果指標	消防団員数 各年4月1日現在		目標	2,444	2,446	2,465	2466	消防団員募集活動等の成果が出ているため。	
			実績	2,445	2,464				
	単年で増	人	達成率	100.0%	100.7%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正に事務が執行され、目標が達成されているため。							
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	大西 太一	戸田 博人

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団管理事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
22121							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる						
施策	消防・救急・救助体制の整備		-	-	○	-	
主な取組	地域消防力の強化	根拠法令	消防組織法第6条～第9条 松山市消防団条例、松山市消防団規則				
取組みの柱	消防団の充実強化						
目的・背景	消防組織法に定められた消防団事務を適正に執行し、消防団業務の円滑化及び市民生活の安全の確保を図る。						
対象・内容	消防団員の訓練や研修会・会議等出席による市内旅費、消防団協力事業所表示証の購入、緊急時の船舶や重機の使用料など、消防団の活動に必要な経費を支出する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防費	目	非常備消防費
予算(千円)	事業費計	10,675	2,431	2,405					
	国費・県費	2,000							
	市債								
	その他	240	360	360					
	一般財源	8,435	2,071	2,045					
決算(千円)	事業費計	8,715	2,179			主な取組内容【R5】 ・消防団管理システムパッケージ継続使用 ・消防団員市内旅費支給			
	国費・県費	1,870							
	市債								
	その他	278	3						
	一般財源	6,567	2,176						
	(執行率)	82%	90%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.4		特記事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.4	0.4	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	消防団協力事業所数	目標	56	58	60	62	目標とおり消防団協力事業所数を増加することができたため。	
		実績	56	58				
	累計で増	事業所	達成率	100.0%	100.0%			
活動指標	消防学校入校者数	目標	20	20	20	20	特別開催された「消防団員ドローン操作講習」に参加したため、目標を達成したものの。	
		実績	16	33				
	単年で増	人	達成率	80.0%	165%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	適正に事務が執行され、目標が達成されているため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	織田 史則

1.事業概要【Plan】

事業名	消防出初式開催事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備		根拠法令					
主な取組	地域消防力の強化							
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	江戸時代の町火消の「出初」「初出」に由来する伝統行事を伝承するため開始したもので、市民と消防関係団体が一堂に会し、「災害に強い安全なまちづくり」を誓い合うとともに、関係団体の団結力、規律、士気の高揚と市民への消防思想の普及啓発を行う。							
対象・内容	例年1月、堀之内公園で消防関係機関が一堂に会し、「災害に強い安全なまちづくり」に向け、市民への消防思想の普及啓発を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	2,711	2,720	3,181		主な経費 (千円) 【R5 決算】	消防出初式会場設営業務委託料		2,328	
	国費・県費						島しょ部消防団員出初式参加に伴う市内旅費		305	
	市債						竹梯子演技関係消耗品ほか		303	
	その他									
	一般財源	2,711	2,720	3,181						
決算 (千円)	事業費計	2,881	3,268			主な取組 内容 【R5】	・令和6年松山市消防出初式の開催			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	2,881	3,268							
	(執行率)	106%	120%							
人役	正規職員	0.4	0.4	0.6		特記 事項	・物価高騰により会場設営委託料が高騰したため、決算額が予算額を上回った。			
	その他	0.2	0.2	0.0						
	合計	0.6	0.6	0.6						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	広報活動		目標	5	10	10	10	積極的にSNSを活用したため。
			実績	10	10			
	現状維持	回	達成率	200.0%	100.0%			
成果 指標	出初式参加者数 (消防・防災関係機関等)		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	積極的な広報活動により市民に周知ができたため。
			実績	1,098	1,123			
	単年で増	人	達成率	109.8%	112.3%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	令和6年消防出初式を開催し、市民への消防思想の普及啓発や消防団のPRを行ったことで、消防団員の増加につながった。						
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	織田 史則	大西 太一

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員被服貸与事務		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	地域消防力の強化		根拠法令	消防組織法第23条第2項				
取組みの柱	消防団の充実強化			松山市消防団規則				
目的・背景	消防組織法に定められた消防団事務(服制)を適正に執行するために開始した事業であり、消防団員に必要な被服を貸与し、消防活動時の安全を確保することを目的とする。							
対象・内容	消防団員が、災害現場などで安全に活動するために必要な被服を貸与する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防団員用活動服購入費	消防団員用法被購入費	3,433
予算(千円)	事業費計	9,807	8,694	11,826					
	国費・県費	1,800	1,400						
	市債								
	その他	1,000	323	220					
	一般財源	7,007	6,971	11,606					
決算(千円)	事業費計	9,803	8,003			特記事項			
	国費・県費	2,801							
	市債								
	その他	800	221						
	一般財源	6,202	7,782						
	(執行率)	100%	92%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.4					
	その他	0.3	0.3	0.1					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	新基準活動服配備数	目標	130	150	150	150	事業費の1/3を補助金で見込んでいたが、採択されなかったため、目標数に到達できなかったもの。	
		実績	97	94				
	単年で増	着	達成率	74.6%	62.7%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	概ね計画的に整備ができていたため。						
課題	常に被服を貸与できる程度の十分な在庫を保有することが困難である。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	白石 和典

1.事業概要【Plan】

事業名	消防ポンプ操法大会開催事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営		
22121			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			—	—	—	—		
政策	安全に暮らせる環境をつくる								
施策	消防・救急・救助体制の整備		根拠法令						
主な取組	地域消防力の強化								
取組みの柱	消防団の充実強化								
目的・背景	消防団員の技術向上を目的とした全国的な大会である消防操法大会を適正に開催するため開始した。								
対象・内容	消防団員を対象とする大会であり、隔年で市大会と県大会を実施し、市大会優勝チームは翌年愛媛県大会へ出場し、県大会優勝チームは当年全国大会へ出場する。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	1,606	1,668	1,761			・第35回松山市消防操法大会の開催	出場選手へ貸与する被服他消耗品費	
	国費・県費					放送設備他使用料			497
	市債					会場設営業務委託料			391
	その他			273					
	一般財源	1,606	1,668	1,488					
決算(千円)	事業費計	1,688	1,655			主な取組内容【R5】			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,688	1,655						
	(執行率)	105%	99%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	市消防操法大会出場分団数	目標	20	20	—	20	出場を希望する分団が多かったため。	
		実績	21	21				
	現状維持	チーム数	達成率	105.0%	105.0%			
成果指標	消防操法訓練参加人数	目標	3,000	3,000	140	3,000	当初予定していた以上の分団が消防操法大会に出場し、各団員が訓練に取り組んだため。	
		実績	4,426	3,119				
	単年で増	人	達成率	147.5%	104.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	第35回松山市消防操法大会に向け、多くの消防団員が訓練に参加し消防技術向上が図られたため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	織田 史則	戸田 博人

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員報酬支給事務		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	地域消防力の強化		根拠法令	消防組織法第23条第1項 松山市消防団条例、松山市消防団規則				
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	消防組織法に定められた消防団事務(報酬の支給)を適正に執行し、消防団員に対し報酬や手当を支給することを目的とする。							
対象・内容	災害等に出勤した場合の出勤報酬、消防団活動全般に対する団員報酬を支給するとともに、車両管理者にポンプ管理報酬を支給する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	174,796	174,716	172,498		主な経費 (千円) 【R5 決算】	団員報酬		83,020
	国費・県費						出勤報酬		66,157
	市債						ポンプ管理報酬		8,399
	その他								
	一般財源	174,796	174,716	172,498					
決算 (千円)	事業費計	152,517	157,576			主な取組 内容 【R5】	・消防団員に対し、団員報酬、出勤報酬及びポンプ管理報酬を支給する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	152,517	157,576						
(執行率)	87%	90%							
人役	正規職員	0.3	0.3	0.5		特記 事項			
	その他	0.2	0.2	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	対象者への適正な支給	目標	23,825	25,210	24,000	24,000	報酬支給事務を適正に執行したため。	
		実績	23,825	25,210				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	団員に対し適正に報酬支給を行ったため。						
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	大西 太一

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団施設維持管理事務		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
22121			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			-	-	-	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる							
施策	消防・救急・救助体制の整備		根拠法令	消防組織法第6条～第9条 松山市消防団規則				
主な取組	地域消防力の強化							
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	消防団の活動拠点となる消防ポンプ蔵置所や、消防団車両の維持管理を適正に行うことを目的とする。							
対象・内容	消防団ポンプ蔵置所(95か所)、消防団車両(113台)が、適正かつ有効に活用できるよう維持管理を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費		
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】					
予算(千円)	事業費計	15,100	15,746	19,549			消防車両の法定点検料	4,194			
	国費・県費							消防車両・資機材の修繕料	2,046		
	市債			1,500							
	その他	519	256	256							
	一般財源	14,581	15,490	17,793		消防施設関係消耗品			1,797		
事業費計	15,705	15,549			主な取組内容【R5】		・消防車両の法定点検、修繕が必要な車両、資機材の修理。 ・消防ポンプ蔵置所の維持管理に係る経費の支出。				
国費・県費											
市債											
その他	404	176									
一般財源	15,301	15,373									
(執行率)	104%	99%									
人役	正規職員	0.3	0.3	0.5		特記事項					
	その他	0.2	0.2	0.0							
	合計	0.5	0.5	0.5							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	要修繕施設の対応率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	施設の修繕事務を適切に行ったため。	
		実績	100.0	100.0				
	単年で増	%	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	要修繕施設の対応件数	目標	-	-	-	-	施設の修繕事務を適切に行ったため。	
		実績	59	45				
	単年で増	件	達成率	100.0%	100.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	消防団施設を適切に維持管理したことにより、長寿命化が図られたため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	大西 太一

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員等公務災害補償事務		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	地域消防力の強化		根拠法令	消防組織法第24条、松山市消防団員等公務災害補償条例 松山市消防団員等に係る損害補償の支給等に関する規則他				
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	消防団員及び消防作業従事者が消防活動で負傷した場合、本人またはその家族の生活の安定を守り、福祉を向上させることを目的とする。							
対象・内容	公務災害補償の対象となる者の補償を確実に行うため、消防団員等公務災害補償等共済基金へ掛金を支出する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金	消防団員への災害補償費	6,636
予算(千円)	事業費計	10,234	15,890	8,639					
	国費・県費							63	
	市債								
	その他	3,596	9,252	2,001					
	一般財源	6,638	6,638	6,638					
決算(千円)	事業費計	10,281	6,699			主な取組内容【R5】	・消防団員等公務災害補償等共済基金へ掛金を支払うとともに、公務災害を被った消防団員へ支出する。 また、災害補償費支出分について基金から歳入を受ける。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	3,629	78						
	一般財源	6,652	6,621						
	(執行率)	100%	42%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記事項	・公務災害補償請求が少なかったため予算額を大幅に下回ったもの。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	公務災害補償対象へ適正な処理率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	適正な補償対応事務が執行されたため。	
		実績	100.0	100.0				
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	公務災害補償対象へ適正な補償	目標	-	-	-	-	適正な補償対応事務が執行されたため。	
		実績	24	4	-	-		
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	補償対応事務を適正に執行することで、本人及び家族の生活を守り、消防団員の福利厚生の上昇に繋がっているため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	織田 史則	大西 太一

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員退職報償事務		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	地域消防力の強化		根拠法令	消防組織法第25条、松山市消防団条例、松山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例				
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	消防団員が退職する場合、その労苦に報い退職報償金を支給し福祉を充実させる。							
対象・内容	退職する消防団員に、退職報償金を適正に支給する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	91,086	95,507	89,198			・消防団員等公務災害補償等共済基金掛金 消防団員への退職報償金		
	国費・県費							64,791	
	市債								
	その他	46,522	50,943	44,634					
	一般財源	44,564	44,564	44,564					
決算(千円)	事業費計	86,580	109,354			主な取組内容【R5】 ・消防団員等公務災害補償等共済基金へ掛金を支払うとともに、退職した消防団員へ退職報償金を支出する。 また、退職報償金支出分について基金から歳入を受ける。			
	国費・県費								
	市債								
	その他	42,017	64,791						
	一般財源	44,563	44,563						
	(執行率)	95%	114%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項 退職者数が想定より増加したため、予算額を上回ったもの。			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	退職金の適切な処理件数割合	目標	100	100	100	100	適切な退職報償金支給事務を行ったため。	
		実績	100.0%	100.0%				
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	退職金の適切な支給	目標	-	-	-	-	適切な退職報償金支給事務を行ったため。	
		実績	108	106				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	報償支給事務が適正に執行され、消防団員の福利厚生に繋がっているため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	戸田 博人	白石 和典

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員福祉共済制度補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
22121			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			-	-	-	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる							
施策	消防・救急・救助体制の整備		根拠法令					
主な取組	地域消防力の強化							
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	消防団員が死亡し、又は事故及び疾病等により入院した場合に「弔慰金」「障害見舞金」「入院見舞金」などを支給する消防団員等福祉共済への掛金を半額補助し、消防団員の福祉の増進を目指す。							
対象・内容	消防団員及びその家族を対象とし、公私を問わず、消防団員が死亡・入院などした場合、遺族援護金、障害見舞金、入院見舞金等の給付を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防団員福祉共済制度補助金		3,192
予算(千円)	事業費計	3,336	3,336	3,368					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,336	3,336	3,368					
決算(千円)	事業費計	3,315	3,192			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,315	3,192						
	(執行率)	99%	96%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1					
	その他	0.3	0.3	0.3					
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	申請に対する適正な事務執行率	目標	100	100	100	100	適切な事務対応を行ったため。	
		実績	100.0%	100.0%				
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	福祉共済の適切な支給	目標	-	-	-	-	適切な事務対応を行ったため。	
		実績	126	36				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	補助金の交付及び福祉共済申請に対する事務が適正に執行され、消防団員の福利厚生の実に繋がっているため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	織田 史則	

1.事業概要【Plan】

事業名	愛媛県消防協会事務		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	地域消防力の強化		根拠法令					
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	消防職・団員の消防知識技術の向上と県民の防火防災意識を高めることを目的とする。							
対象・内容	(公財)愛媛県消防協会へ負担金を支出し、愛媛県消防大会や操法大会の開催、民間防火組織の表彰、消防団合同訓練などの地域防災力を向上させるための事業を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】				
予算(千円)	事業費計	2,873	2,834	2,869			愛媛県消防協会会費	2,548		
	国費・県費					全国女性消防団員活性化大会参加に係る旅費		268		
	市債									
	その他									
	一般財源	2,873	2,834	2,869						
決算(千円)	事業費計	2,646	2,815			主な取組内容【R5】	・愛媛県消防協会へ対し負担金を支出し、愛媛県消防大会や操法大会の開催、民間防火組織の表彰等を行う。			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	2,646	2,815							
	(執行率)	92%	99%							
人役	正規職員	0.2	0.2	0.4		特記事項				
	その他	0.2	0.2	0.0						
	合計	0.4	0.4	0.4						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	愛媛県消防協会行事参加者数	目標	100	100	100	100	積極的な呼びかけにより、当初の目標以上の人数が参加することができたため。	
		実績	139	116				
	現状維持	人	達成率	139.0%	116.0%			
活動指標	中予合同訓練参加者数	目標	5	5	5	5	愛媛県総合防災訓練に合わせて実施することで、充実した訓練を行うことができたため。	
		実績	5	14				
	累計で増	人	達成率	100.0%	280.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	適正に事務が執行され、消防団員の知識、技術の向上が図られたため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	織田 史則

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団車両機械購入事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
22121			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			-	-	○	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる							
施策	消防・救急・救助体制の整備		根拠法令	消防組織法第6条～第9条 松山市消防団規則				
主な取組	地域消防力の強化							
取組みの柱	消防団の充実強化							
目的・背景	松山市消防団規則(昭和39年)に定められた、消防団事務(施設の整備)を適正に執行するため、消防団車両の更新や資機材を配備することにより、消防団の消防救助能力を維持強化することを目的とする。							
対象・内容	消防団車両(113台)、小型動力ポンプ(23台)、自動二輪車(5台)ほか車両更新計画に基づき老朽更新を行うとともに、必要な資機材の配備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費							
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防団車両4台購入費		33,033							
予算(千円)	事業費計	87,945	44,484	160,138						小型動力ポンプ2台購入費			4,620			
	国費・県費													車両購入に伴う自動車重量税		53
	市債	87,500	44,200	159,500												
	その他															
	一般財源	445	284	638												
決算(千円)	事業費計	85,531	37,784			主な取組内容【R5】	・老朽化した消防団車両4台及び小型動力ポンプ2台を更新した。									
	国費・県費															
	市債	85,200	37,500													
	その他															
	一般財源	331	284													
	(執行率)	97%	85%													
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記事項										
	その他	0.0	0.0	0.0												
	合計	0.3	0.3	0.3												

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	消防団車両更新台数	目標	6	6	8	6	全国的なシャシの供給遅れで、ポンプ車2台を債務負担行為とし、令和6年度の納入としたため。	
		実績	6	4				
	単年で増	台	達成率	100.0%	66.7%			
成果指標	救助資機材搭載車両配備率	目標	45	50	57		総務省消防庁の無償貸付車両(ポンプ車)1台の納入が延期となったため。	
		実績	45	49				
	累計で増	%	達成率	100.0%	98.0%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	債務負担行為のポンプ車2台と総務省消防庁の無償貸付車両(ポンプ車)1台を除き、計画どおりの車両更新等が実施できたため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	織田 史則

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団施設整備・営繕事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
22121								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	地域消防力の強化		根拠法令	消防組織法第6条～第9条				
取組みの柱	消防団の充実強化			松山市消防団規則				
目的・背景	松山市消防団規則(昭和39年)に定められた事務(施設の整備)を適正に執行するため、消防団の活動拠点である消防ポンプ蔵置所の経年劣化に伴う不良箇所等を適正に改修・整備することを目的とする。							
対象・内容	消防ポンプ蔵置所等の維持管理のため、営繕工事を実施。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防団施設の営繕工事費		3,200
予算(千円)	事業費計	3,200	3,200	3,200					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,200	3,200	3,200					
決算(千円)	事業費計	2,740	3,200			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,740	3,200						
	(執行率)	86%	100%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3					
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	要修繕施設の対応率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	施設営繕事務を適正に執行したため。	
		実績	100.0	100.0				
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	要修繕施設の対応件数	目標	-	-	-	-	施設営繕事務を適正に執行したため。	
		実績	15	8				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	施設の営繕事務を適切に行い、長寿命化につなげたため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	玉井 公	担当	内田 善朗	織田 史則

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団ポンプ蔵置所耐震化事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21123								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる			○	○	-	-	
施策	防災対策等の推進							
主な取組	市有施設の耐震化		根拠法令	消防組織法第6条～第9条				
取組みの柱	その他の施設の耐震化			松山市消防団規則				
目的・背景	阪神・淡路大震災で耐震性の低い消防施設が被害を受け、消防活動拠点としての機能を発揮することができなかった県外での事例を踏まえ、消防団拠点機能を強化するために開始した事業で、消防団の活動拠点となる消防団ポンプ蔵置所の耐震化を進めることで、地域の消防防災力を強化することを目的とする。							
対象・内容	粟井分団2部消防ポンプ蔵置所、立岩分団2部消防ポンプ蔵置所解体工事及び小野分団北梅本中組消防ポンプ蔵置所新築工事に伴う土地購入を実施。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防ポンプ蔵置所2施設解体工事		3,309,900
予算(千円)	事業費計	13,715	33,275	17,000					
	国費・県費								
	市債	13,715	24,500	17,000					
	その他								
	一般財源		8,775						
決算(千円)	事業費計	13,489	8,121			令和2年に消防ポンプ蔵置所を集約し、不要となった耐震基準に満たない粟井分団2部及び立岩分団2部消防ポンプ蔵置所を解体した。また、小野分団北梅本中組消防ポンプ蔵置所新築工事に伴う土地を購入した。			
	国費・県費								
	市債	13,200	3,600						
	その他								
	一般財源	289	4,521						
	(執行率)	98%	24%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.2		特記事項	ポンプ蔵置所の建替えに伴う土地購入に時間を要し、令和5年度中に蔵置所の建替えに至らなかったため。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.4	0.4	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	建替えや取壊しが必要なポンプ蔵置所棟数	目標	2	3	1	1	土地購入に時間を要し、蔵置所の建替えに至らなかったため。		
		実績	2	2					
	累計で減	棟	達成率	100.0%	66.7%				
成果指標	ポンプ蔵置所耐震化率	目標	98	100	100	100	土地購入に時間を要し、蔵置所の建替えに至らなかったため。		
		実績	98	99					
	累計で増	%	達成率	100.0%	99.0%				
事業評価	評価	その他							
	理由	小野分団北梅本中組消防ポンプ蔵置所の建替えに伴う土地購入に時間を要し、令和5年度中に蔵置所の建替えに至らなかったため、令和6年度に繰越し実施するもの。							
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果が挙げられているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	宮崎 正次	担当	黒川 美由紀	松田 佐織

1.事業概要【Plan】

事業名	防火防災訓練補償等共済事務		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
21312			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			-	-	-	-	
政策	災害等に強いまちをつくる							
施策	地域防災力の向上		根拠法令					
主な取組	自主防災の充実・強化							
取組みの柱	自主防災組織の育成及び充実・強化							
目的・背景	防火・防災訓練に参加した住民が怪我等をした場合などの補償に備えている。防災訓練などに参加する住民への補償の必要性から本制度を開始した。							
対象・内容	市の最新の国勢調査人口で算出した掛金で加入し、防火防災訓練災害補償等共済制度に基づき、補償等対象者に損害賠償に対するてん補金を支払う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	防火防災訓練災害補償等共済掛金		511
予算(千円)	事業費計	664	661	661					
	国費・県費								
	市債								
	その他	150	150	150					
	一般財源	514	511	511					
決算(千円)	事業費計	514	511						
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	514	511						
	(執行率)	77%	77%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	掛金の支出	目標	1	1	1	1	契約書に基づき掛金を支払った。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
成果指標	てん補金の支払い	目標	-	-	-	-	本制度を活用する事故等は発生していない。	
		実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	てん補金の支払い事案の有無に関わらず、事務の継続が必要。						
課題	てん補金の支払い事案が発生した場合には、滞りの無い事務処理が求められる。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	防火防災の訓練は地域住民一人ひとりが参加、協力して地域ぐるみで防災対策にあたるのが大切であり、今後も多くの住民に参加してもらえることを目的に継続が必要である。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	宮崎 正次	担当	黒川 美由紀	松田 佐織

1.事業概要【Plan】

事業名	防火指導事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
21312		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		-	-	-	-	
政策	災害等に強いまちをつくる						
施策	地域防災力の向上	根拠法令					
主な取組	自主防災の充実・強化						
取組みの柱	自主防災組織の育成及び充実・強化						
目的・背景	防火・防災に関する知識や火災発生時の初期対応を習得するため、松山市防災センターを平成12年度に開設した。防災センターや様々な広報媒体を活用した市民への防火・防災思想の普及啓発活動を行っている。						
対象・内容	広く市民に防火・防災思想の普及啓発を行うため、幅広い年齢層の方が来館する防災センターの運営管理や、消防局マスコットキャラクター「はっぴーカバー君」の維持管理を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	消防費	目	常備消防費
予算(千円)	事業費計	270	217	257					
	国費・県費								
	市債								
	その他	32	2	1					
	一般財源	238	215	256					
決算(千円)	事業費計	259	282			特記事項	(R5)マスコットキャラクターが損傷し、急遽修繕した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	30	2						
	一般財源	229	280						
	(執行率)	96%	130%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.2					
	その他	5.0	4.0	4.4					
	合計	5.6	4.6	4.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	防災センター入場者数	目標	4000	4000	4500	4500	防災センター利用促進の広報活動を積極的に行ったため。	
		実績	4030	4036				
	単年で増	人	達成率	100.8%	100.9%			
活動指標	地震体験車の試乗者	目標	6000	6000	6000	6000	SNSやホームページの広報を活用して概ね目標どおりの市民が試乗した。	
		実績	5941	5489				
	単年で増	人	達成率	99.0%	91.48%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	防災センターや地震体験車を利用した体験型訓練施設の安定した人気と、SNSやホームページを活用した防火広報活動を行っているため。						
課題	防災センターの施設及び地震体験車が老朽化しているが、維持管理の予算が確保出来ていない。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	一定の需要があるため防災センターと地震体験車は運用を継続する。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	宮崎 正次	担当	黒川 美由紀	松田 佐織

1.事業概要【Plan】

事業名 21312	みんなの消防フェスタ開催事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	地域防災力の向上		-				
主な取組	自主防災の充実・強化	根拠法令					
取組みの柱	自主防災組織の育成及び充実・強化						
目的・背景	多くの市民に防火・防災への関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする民間防火組織の連携の輪を広げることを目的とする。						
対象・内容	防火・防災関連ブースのほか、消防マスコットカーの試乗、ロープ渡りなど、各種消防体験コーナーを設置し、広く市民に防火防災の啓発を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】			
予算(千円)	事業費計	116	116	123			・みんなの消防フェスタ・防災シンポジウム2023の開催	パンフレット印刷一式委託料	
	国費・県費					参加市民記念品代			28
	市債					表彰者への記念品代(表彰用額)			12
	その他								
	一般財源	116	116	123					
決算(千円)	事業費計	105	116			主な取組内容【R5】			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	105	116						
	(執行率)	91%	100%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.6		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.2					
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	消防フェスタ参加者数(消防防災関係機関等)	目標	1000	1000	1000	1000	地域防災協議会の関係者等に広く声掛けができたため。	
		実績	1000	1000				
	単年で増	人	達成率	100%	100%			
成果指標	消防フェスタ来場者数(市民)	目標	3000	3000	3000	3000	SNS、ポスター掲示等の広報活動を行い目標通りの市民が来場したため。	
		実績	3000	3000				
	単年で増	人	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	みんなの消防フェスタ・防災シンポジウム2023を開催し、広く市民への消防思想の普及啓発が行えたため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	宮崎 正次	担当	黒川 美由紀	松田 佐織

1.事業概要【Plan】

事業名 21312	幼年少年消防クラブ育成事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	地域防災力の向上						
主な取組	自主防災の充実・強化	根拠法令					
取組みの柱	自主防災組織の育成及び充実・強化						
目的・背景	幼稚園・保育園の園児や小学生を対象に、防火・防災についての知識やスキルを楽しみながら身に付けられるよう趣向を凝らした指導を行い、防火・防災意識が向上することを目的とする。 幼年消防クラブ:昭和55年に制度発足 少年消防クラブ:昭和52年に制度発足						
対象・内容	市内の園児や児童を対象に、防災紙芝居教室をはじめ、一日消防学校の開校、また、消防イベント「みんなの消防フェスタ」への参加を促す。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	51	49	119		主な経費 (千円) 【R5 決算】	一日消防学校参加記念品代		15
	国費・県費						被表彰者記念品代		12
	市債						BFCバッチパーツ代		9
	その他								
	一般財源	51	49	119					
決算 (千円)	事業費計	30	42			主な取組 内容 【R5】	・防災紙芝居読み聞かせ実施 ・一日消防学校の開催 ・少年消防クラブ員への任命書・期待書・クラブ員章の発行		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	30	42						
	(執行率)	59%	86%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.2		特記事項			
	その他			0.4					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	一日消防学校への参加者数	目標	100	100	100	100	学校行事と重なり前年比では減っているが、一定の成果は上げられた。	
		実績	97	74				
	単年で増	人	達成率	97%	74%			
活動指標	防災紙芝居教室等開催園数	目標	40	40	40	40	恒例行事として多くの園に認知され、地元女性クラブ員との交流が好評である。	
		実績	26	48				
	単年で増	園	達成率	65%	120%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	一日消防学校や防災紙芝居教室を行い、広く幼少年への消防思想の普及啓発が行われた。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待されている成果があげられているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245	
部長等名	村尾 尚登	課等長名	藤井 通人	リーダー	宮崎 正次	担当	黒川 美由紀	松田 佐織

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市女性防火クラブ連合会補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
22122								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	地域消防力の強化		根拠法令					
取組みの柱	女性防火クラブの充実強化							
目的・背景	火災を減らすためには、各家庭の台所を預かる主婦に火災予防思想を普及させることが重要であると考え、地区単位で婦人防火クラブを立ち上げ、昭和55年10月に松山市婦人(現在は、女性に改称)防火クラブ連合会を設立した。この団体には、市内一円で防火啓発活動を幅広く行う観点から、昭和56年度から補助金制度を開始した。							
対象・内容	松山市女性防火クラブ連合会に補助金を交付し、消防イベント(みんなの消防フェスタ)や松山市総合防災訓練などへの参加や全国火災予防運動に伴う防火啓発活動などを通して、広く市民に火災予防思想の普及を図る。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	補助金		1,750
予算(千円)	事業費計	1,750	1,750	1,750					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,750	1,750	1,750					
決算(千円)	事業費計	1,750	1,750			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,750	1,750						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8					
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	地区研修会参加クラブ員数	目標	550	550	600	600	女性防火クラブ員同士の積極的な声掛けがあり、全地区(39地区)で研修会を実施することができたため。		
		実績	547	640					
	現状維持	人	達成率	99.9%	116%				
活動指標	地区研修会実施地区数	目標	39	39	39	39	各地区の実施状況を事務局で管理し、適切に支援を実施したため。		
		実績	39	39					
	現状維持	地区	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正に事務が執行され、目標が達成されているため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。		